

新しい賀川記念館の完成を祝い、賛美歌を歌う出席者ら＝神戸市中央区吾妻通5（撮影・岡田育磨）

新・賀川記念館で竣工式

友愛の活動 未来へと

日本を代表する社会運動家賀川豊彦（1888～1960年）の理念を受け継ぎ、事業展開の拠点として建てられた「賀川記念館」の竣工式（献館式）が12日、神戸市中央区吾妻通5の同館で開かれた。運営する法人関係者や地域住民ら約200人が、真新しい施設の完成を祝った。

（河尻 悟）



事業の拠点 「地域社会に尽くしたい」

賀川が新生田川地区で活動を始めたのは1909（明治42）年12月。旧記念館は活動開始50年を記念し、63年にできたが老朽化したため、活動を始めて100年になるのに合わせ建て替え。総事業費8億2300万円をかけて、今月完成した。

新しい記念館は鉄筋5階建て。運営する社会福祉法人・学校法人「イエス団」本部や保育施設のほか、賀川の業績を紹介するミュージアム（来年

神戸

4月オープン予定）も設けられる。

竣工式では、イエス団の木村量好理事長が「皆さんの協力に心から感謝する。今後も地域社会のために尽くしたい」とあいさつ。賀川豊彦献身100年記念事業神戸プロジェクト実行委員会の今井鎮雄委員長は「賀川が今、ここにいたらどんな事業に取り組んだか、を考えながら新しい仕事を進めてほしい」と呼び掛けた。イエス団本部 ☎ 078・221・9565